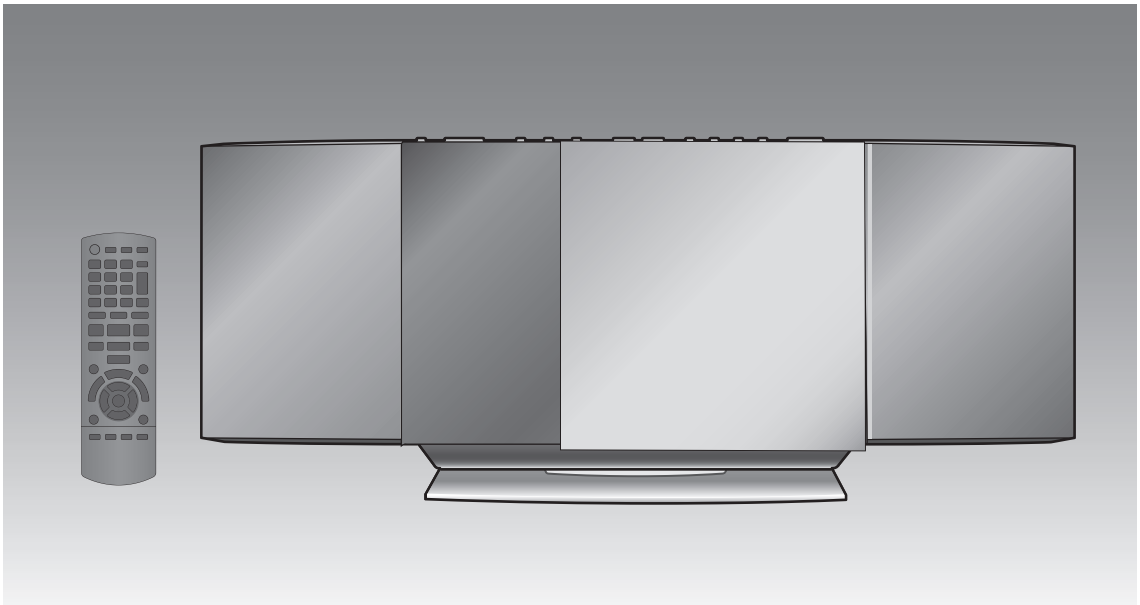
Panasonic

取扱説明書

コンパクトステレオシステム

品番 SC-HC55
SC-HC35



SC-HC55 のみ

COMPACT disc DIGITAL AUDIO

Bluetooth®

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に**「安全上のご注意」（➜ 29 ～ 31 ページ）を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

困ったときは？

Q&A（よくあるご質問）	➜ 26 ページ
こんな表示が出たら	➜ 26 ページ
故障かな！？	➜ 27 ～ 28 ページ

保証書別添付

安全上のご注意
準備
聴く
iPod/iPhone
Bluetooth® SC-HC55 のみ
ハンズフリー SC-HC55 のみ
タイマー
使いこなす
必要なとき

付属品

付属品をご確認ください

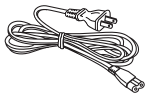
かっこ【　】内は、2011 年 1 月現在の品番です。



□ FM 簡易型アンテナ（1 本）
【RSAX0002】



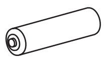
□ AM ループアンテナ（1 本）
【N1DYYYY00010】



□ 電源コード（1 本）
【K2CA2CA00024】



□ リモコン（1 コ）
SC-HC55
【N2QAYB000638】
SC-HC35
【N2QAYB000642】



□ リモコン用乾電池
（単 3 形、1 本）

- 電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。
- 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。

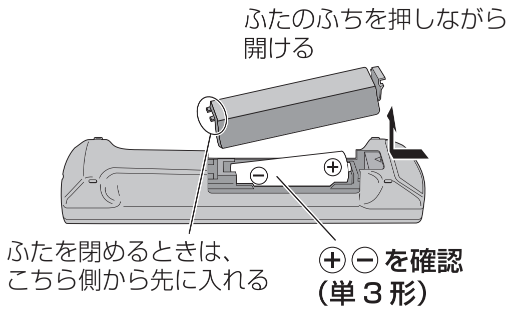
付属品（➔ 上記）と別売品（➔ 28 ページ）は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックの家電製品直販サイト「パナセンス」でお買い求めいただけるものもあります。
詳しくは「パナセンス」のサイトをご覧ください。

CLUB Panasonic
PanaSense http://club.panasonic.jp/mall/sense/

携帯電話からもお買い求めいただけます。
http://p-mp.jp/cpm

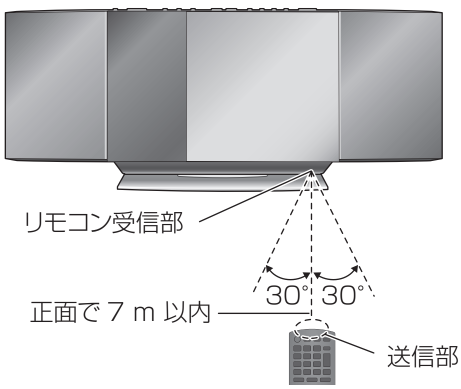
リモコンの準備

■乾電池の入れかた



- 電池はマンガンまたはアルカリ乾電池をお使いください。

■リモコンの使用範囲



- 距離と角度はおよその数値です。

■使用上のお願い

- 受信部とリモコンの間に障害物を置かないでください。
- 受信部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光を当てないでください。
- 受信部と送信部のほこりに注意してください。

もくじ

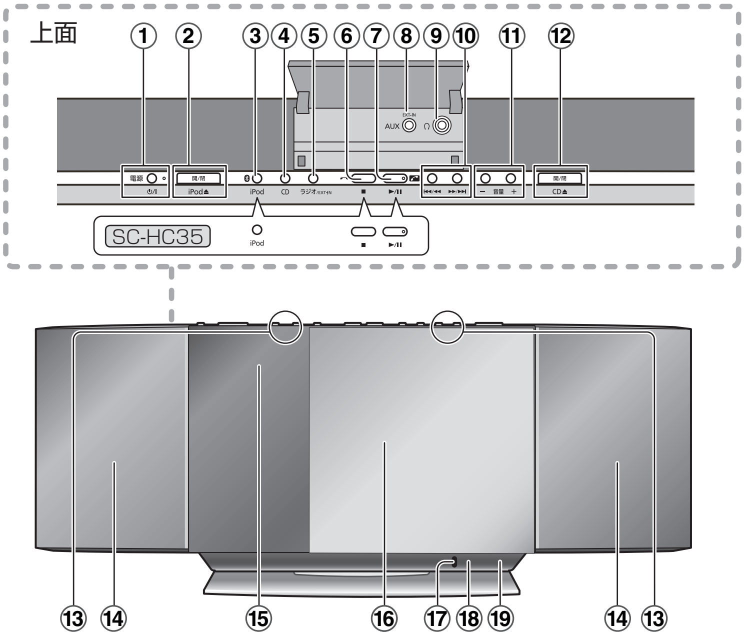
「安全上のご注意」を必ずお読みください
（➔ 29 ～ 31 ページ）

各部のはたらき

■本書の説明について

- リモコンでの操作を中心に説明しています。
- 表示部の画面イラストは説明のための例です。また、画面の一部を省略している場合があります。

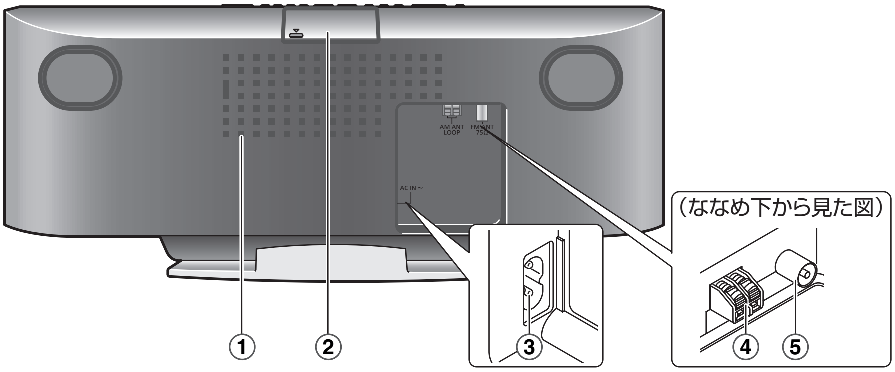
本体（イラストは SC-HC55 です。）



	なまえやはたらき	参照ページ
①	[電源 ⏻/I] • 電源を入 / 切する	—
①	電源ランプ（赤色） - 点灯：電源入時 - 消灯：電源切（スタンバイ）時	—
②	[iPod ▲ 開 / 閉] • iPod/iPhone 側の電動スライドドアを開閉する	8
②	SC-HC55 のみ センサーオープン / クローズライト（iPod/iPhone 側）	8
③	SC-HC55 [iPod Ⓑ] • セレクターを「IPOD」「I.RADIO」「BLUETOOTH」に切り換える SC-HC35 [iPod] • セレクターを「IPOD」に切り換える	16 ～ 19
④	[CD] • セレクターを「CD」に切り換える	9
⑤	[ラジオ /EXT-IN] • セレクターを「FM」「AM」「AUX」に切り換える	12 ～ 14
⑥	SC-HC55 [■ ☎] • 停止する • 電話を切る SC-HC35 [■] • 停止する	10 ～ 12, 16, 20, 21
⑦	SC-HC55 [▶/❚❚ ☎] • 再生 / 一時停止する • 電話に出る SC-HC35 [▶/❚❚] • 再生 / 一時停止する	9 ～ 11, 16, 20, 21

	なまえやはたらき	参照ページ
⑧	EXT-IN AUX（外部入力）端子	14
⑨	∩（ヘッドホン）端子 - プラグタイプ：∅ 3.5 mm ステレオミニプラグ	—
⑩	[⏮/◀◀] [▶▶/⏭] • スキップ / サーチする • ラジオのプリセットチャンネルを選ぶ	10 ～ 12, 16, 20
⑪	[− 音量 +] • 音量を調節する：0（最小）～ 50（最大）	—
⑫	[CD ▲ 開 / 閉] • CD 側の電動スライドドアを開閉する	8
⑫	SC-HC55 のみ センサーオープン / クローズライト（CD 側）	8
⑬	SC-HC55 のみ 電動スライドドアセンサー	8
⑭	スピーカー部	—
⑮	表示部	5
⑯	電動スライドドア	8
⑰	SC-HC55 のみ 通話マイク	21
⑱	SC-HC55 のみ Bluetooth® ランプ（青色） - 点灯：Bluetooth® 接続中 - 点滅（速い）：電話呼び出し中 - 点滅（遅い）：通話中	18, 19, 21
⑲	リモコン受信部	2

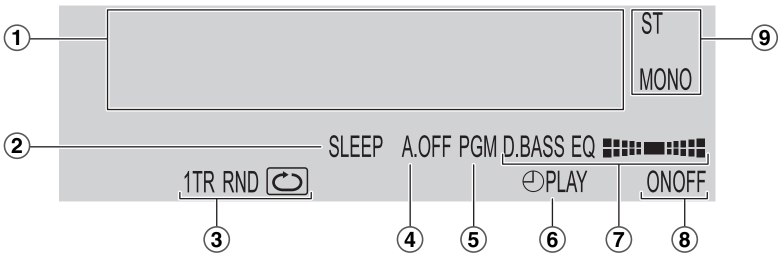
本体背面（イラストは SC-HC55 です。）



	なまえやはたらき	参照ページ
①	通気孔	31
②	EXT-IN AUX 端子 / Ω 端子ふた	14
③	AC 入力端子	7

	なまえやはたらき	参照ページ
④	AM アンテナ端子	7
⑤	FM アンテナ端子	7, 13

表示部



	なまえやはたらき	参照ページ
①	セレクター／各操作の画面／ 曲の情報／時計表示　など	—
②	おやすみタイマー	21
③	再生の種類 1TR：　1 曲を再生 RND：　ランダムプレイ （リピート表示）：　リピートプレイ	10, 11
④	オートオフ設定中（お買い上げ時：点灯）	24
⑤	プログラムプレイ設定中／ オートプリセットメモリー設定中／ マニュアルメモリー設定中	11, 12
⑥	おめざめタイマー	22

	なまえやはたらき	参照ページ
⑦	音質・音場効果 D.BASS：　D.BASS 設定中 （お買い上げ時：点灯） EQ：　プリセットイコライザー 設定中（お買い上げ時：点灯） （サラウンド表示）：サラウンド設定中	23
⑧	おめざめタイマーの開始 / 終了	22
⑨	ラジオ受信状態 ST：　FM ステレオ放送受信中 MONO：　FM モノラル受信中	12, 13

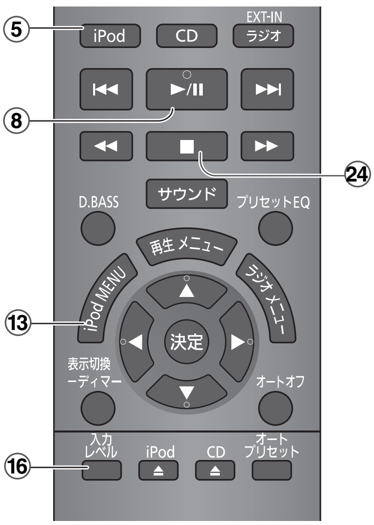
各部のはたらき（つづき）

リモコン

SC-HC55

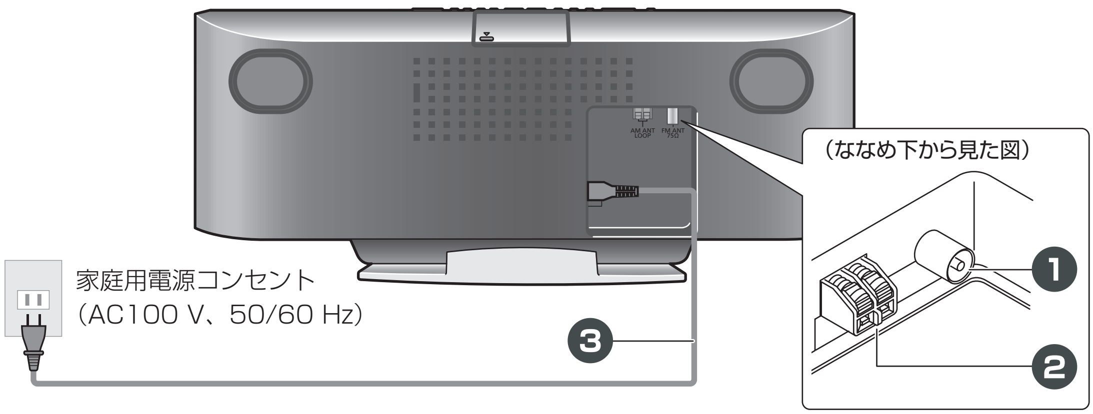


SC-HC35

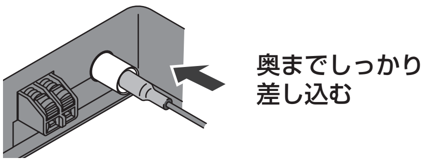


	なまえやはたらき		参照ページ
①	［電源］	• 電源を入 / 切する	—
②	［スリープ］	• おやすみタイマーを設定する	21
③	「数字ボタン」	• 番号を選ぶ	10 ～ 12
④	［消去］	• プログラム曲を消去する	11
⑤	SC-HC55 ［iPod ✱］	• セレクターを「IPOD」「I.RADIO」「BLUETOOTH」に切り換える	16 ～ 19
	SC-HC35 ［iPod］	• セレクターを「IPOD」に切り換える	16
⑥	［CD］	• セレクターを「CD」に切り換える	9
⑦	［⏮］［⏭］	• スキップする • ラジオのプリセットチャンネルを選ぶ	10 ～ 12, 16, 20
⑧	SC-HC55 ［▶/II 📞］	• 再生 / 一時停止する • 電話に出る	9 ～ 11, 16, 20, 21
	SC-HC35 ［▶/II］	• 再生 / 一時停止する	9 ～ 11, 16
⑨	［◀◀］［▶▶］	• サーチする • ラジオの周波数を選ぶ	10, 12, 13, 16
⑩	［サウンド］	• サウンドメニュー画面に入る	8, 14, 20, 23
⑪	［D.BASS］	• D.BASS 効果を入 / 切する	23
⑫	［再生メニュー］	• 再生メニュー画面に入る	10, 11
⑬	SC-HC55 ［iPod MENU ✱ メニュー］	• iPod や Bluetooth® の選曲メニュー画面に入る	16, 19, 20
	SC-HC35 ［iPod MENU］	• iPod の選曲メニュー画面に入る	16
⑭	［▲］［▼］［◀］［▶］［決定］	• メニューや設定画面で選んで決定する	—
⑮	［表示切換ーディマー］	• 表示を切り換える • 表示部の明るさを変える	10, 20, 24
⑯	SC-HC55 ［開 / 閉センサー］	• センサーオープン / クローズ機能の感度を変更する	8
	SC-HC35 ［入力レベル］	• 入力レベルを変更する	14
⑰	［iPod ⏏］	• iPod/iPhone 側の電動スライドドアを開閉する	8
⑱	［再生 ◴］	• おめざめタイマーを入 / 切する	22
⑲	［時計 / タイマー］	• 時計を合わせる / 表示する • おめざめタイマーを設定する	21, 22
⑳	［プログラム］	• プログラム設定を入 / 切する • マニュアルメモリーを設定する	11, 12
㉑	［＋ 音量 －］	• 音量を調節する：0（最小）～ 50（最大）	—
㉒	［消音］	• 一時的に消音する -「MUTE」点滅：消音中 - 解除するには：もう一度［消音］を押す、音量を調節する、電源を切 / 入する	—
㉓	［ラジオ EXT-IN］	• セレクターを「FM」「AM」「AUX」に切り換える	12 ～ 14
㉔	SC-HC55 ［■ 📞］	• 停止する • 電話を切る	10 ～ 12, 16, 20, 21
	SC-HC35 ［■］	• 停止する	10 ～ 12, 16
㉕	［プリセット EQ］	• 音質効果を設定する	23
㉖	［ラジオメニュー］	• ラジオメニュー画面に入る	13
㉗	［オートオフ］	• オートオフ機能を入 / 切する	24
㉘	［オートプリセット］	• ラジオの放送局を自動で記憶させる	12
㉙	［CD ⏏］	• CD 側の電動スライドドアを開閉する	8

接続のしかたと設置

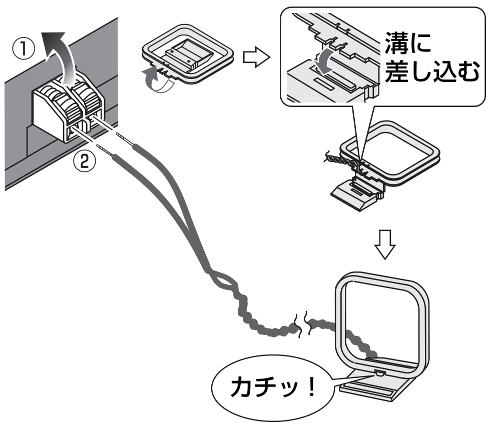


❶ FM 簡易型アンテナを接続する



実際に放送を受信（➜ 12、13 ページ）し、雑音の少ない壁や柱の位置に、テープで止めます。

❷ AM ループアンテナを接続する



実際に放送を受信（➜ 12、13 ページ）し、雑音の少ない位置に置きます。

❸ 電源コードを接続する

電源コードは最後に接続します。

- 接続後は、しばらく待ってから［電源］を押して電源を入れてください。

■ 電源コードを抜くときは

① ［電源］を押して電源を切る
②「GOODBYE」の表示が消えてから電源コードを抜く

- 本機を移動するときは、CD/iPod/iPhone を取り出してから電源を切ってください。

■ よりよい音響効果を得るために

音は置きかたによって変わります。
例えば、床の上や部屋の隅に置くと低音が増します。
下記を参考に、よりよい音質をお楽しみください。

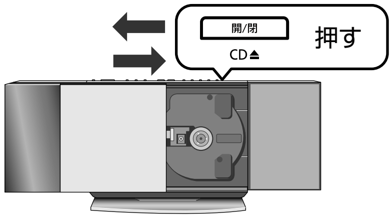
- 平らで安定した場所に設置する
- スピーカー周囲の様子をできるだけ同じにする
- 左右は壁から離す
- 堅い壁やガラス窓には厚地のカーテンなどを掛けて反射を少なくする
- 後ろの壁から 5 cm 以上離して設置する

お願い

- 本機のスピーカーは防磁設計ではありません。本機の近くに時計や磁気カード（クレジットカード）を置いたり、本機をテレビやパソコンの近くに置かないでください。
- 大きな音量で連続使用しないでください。スピーカー特性の劣化が起こったり、スピーカーの寿命が極端に短くなったりすることがあります。
- 通常の使用時でも音がひずんだときは、スピーカー破損の原因になることがありますので、音量を下げてご使用ください。

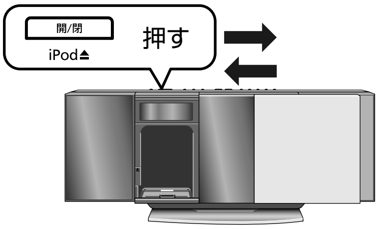
電動スライドドアの開閉について

CD 側を開ける / 閉める



• リモコンの［CD ▲］でも開閉できます。

iPod/iPhone 側を開ける / 閉める



• リモコンの［iPod ▲］でも開閉できます。

お願い

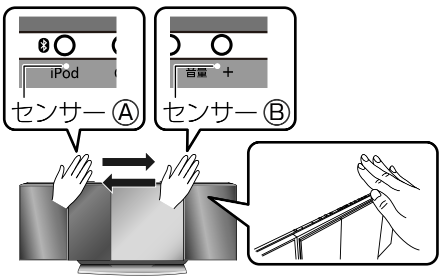
• 電動スライドドアは直接手で開閉しないでください。無理に開閉すると故障の原因になります。
• 手をはさむおそれがありますので、電動スライドドア付近に手を置かないでください。

お知らせ

• iPod/iPhone 側または CD 側の電動スライドドアが開いている状態から、直接反対側の電動スライドドアを開けることはできません。
• iPod/iPhone 側の電動スライドドアは、開いている状態で電源を切っても閉まりません。

センサーオープン / クローズ機能 SC-HC55 のみ

本体（上面）にかざした手のひらをスライドさせるだけで、電動スライドドアを開閉できます。



CD 側を開ける	手のひらをⒷの上にかざして、左方向にスライド（Ⓐまで）させる • 閉めるには、逆方向にスライドさせます。
iPod/iPhone 側を開ける	手のひらをⒶの上にかざして、右方向にスライド（Ⓑまで）させる • 閉めるには、逆方向にスライドさせます。

■ センサーの感度を変更するには：

かざした手を検知するセンサーの感度を設定したり、無効にします。

［開 / 閉センサー］を数回押す

押すたびに

「MODE 2」→「MODE 3」→「OFF SENSOR」→「MODE 1」→（「MODE 2」へ戻る）

•「OFF SENSOR」のときは、センサーオープン / クローズライトが消灯し、「MODE 1 ～ 3」のときは点灯します。
• 動作しやすいモードをお選びください。
• お買い上げ時の設定は「MODE 2」です。

■ 効果音を設定するには：

① ［サウンド］を数回押して「BUZZER」を選ぶ

② ［◀］［▶］を押して効果音の設定を選ぶ

LOW：	効果音（小）
MID：	効果音（中）
HIGH：	効果音（大）
OFF：	効果音なし

• 効果音は次の場合は鳴りません。
- セレクターを「FM」「AM」にしているとき
- 外部機器や iPod/iPhone や CD の音が出ているとき
- Bluetooth® 機器の接続状態
- 消音しているとき

お知らせ

• センサーから赤い光を発していますが、異常ではありません。
• CD の再生 / 一時停止中は、手のひらをかざしても CD 側の電動スライドドアは開きません。
• センサーの感度を「MODE 1」にした場合は、手のひらを本体（上面）に近づけて（約 3 cm）操作してください。
• 次の場合などに、意図せずセンサーオープン / クローズ機能が働くことがあります。
- 本体（上面）に手、腕、物を近づけたとき
- 電動スライドドアセンサーに小さなお子様や小動物が近づいたとき
• センサーオープン / クローズ機能の反応が悪い場合は、手のひらを本体（上面）に近づけ、スライドさせる速度を変えてみてください。
• 使用環境（棚の中、直射日光や蛍光灯の強い光の場所など）により、センサーオープン / クローズ機能が働かなくなり、CD 側と iPod/iPhone 側のセンサーオープン / クローズライトが両方点滅することがあります。その場合は、本体やリモコンのボタンを使って、電動スライドドアを開閉してください。

CD について

■ 使用できる CD

● マークの付いた CD

● CD-DA フォーマットで記録された音楽用の CD-R/CD-RW（ファイナライズ※されたもの）
- 記録状態によっては再生できない場合があります。

※ 音楽用 CD-R/CD-RW 再生対応機器で再生できるように処理すること。

■ 使用できない CD

● ハート型など、特殊形状の CD（故障の原因になります。）

■ 使用を保証していない CD

● 違法にコピーしたディスクや規格外ディスク

● DualDisc（デュアルディスク：両面に音楽や映像などの情報が書き込まれたディスク）

■ 取扱上のお願い

CD そのものの破損や、機器の故障の原因ともなりますので、次のことをお守りください。

- 鉛筆やボールペンなどで字を書かない
- レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない
- 紙やシール、ラベルを貼らない
- 傷つき防止用のプロテクターなどを使わない
- シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出している CD は使わない

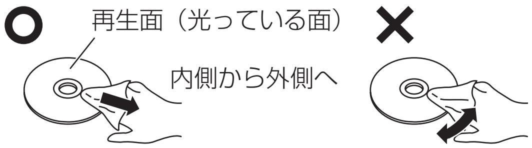
● **持ちかた**



再生面（光っている面）には触れない

● **汚れたときのお手入れは**

水を含ませた柔らかい布でふいてから、からぶきしてください。



● **露がついたら**

急に暖かい室内に持ち込んだときなど、露がついた場合は、柔らかい布でからぶきしてください。

● **CD を良い音でお楽しみいただくために**

別売の専用クリーナーで時々清掃されることをおすすめします。

推奨品：CD レンズクリーナー（品番 RP-CL510）

CD を聴く

■ 本機で再生できるディスク

市販の音楽 CD（CD-DA）	○
CD-R/CD-RW（CD-DA）	○
CD-R/CD-RW（WMA/MP3）	× 再生できません

1 **［電源］を押して電源を入れる**

2 **① 電動スライドドアを開け（➞8 ページ）、CD を入れる**

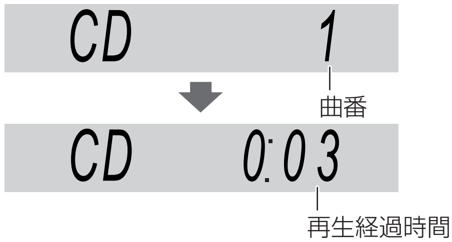


② 電動スライドドアを閉める（➞8 ページ）

3 **［CD］を押してセレクターを「CD」に切り換える**

4 **［▶/❚❚］を押す**

再生が始まります。



CD を聴く（つづき）

停止する	[■]（停止）を押す
一時停止する	[▶/❚❚] を押す • 再開するにはもう一度押す
曲を飛ばす（スキップ）	[⏮] [⏭]（本体では [⏮/◀◀] [▶▶/⏭]）を押す
早送り / 早戻しする（サーチ）	再生中 / 一時停止中に、[◀◀] [▶▶]（本体では [⏮/◀◀] [▶▶/⏭]）を聴きたい位置まで押したままにする
好きな曲から聴く（ダイレクトプレイ）	数字ボタンを押して曲を選ぶ • 選んだ曲から順に再生が始まります。 10 以上を選ぶとき（例：12） [≧10] → [1] → [2]
音量を調節する	[＋ 音量 －] を押す
曲番や再生残り時間を見る	[表示切換] を押す • 押すたびに内容が切り換わります。（再生中や一時停止中など状態によって異なります。）

お知らせ

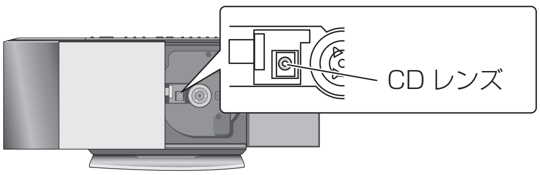
• ランダム / プログラムプレイ設定中（➔ 右記、11 ページ）は、ダイレクトプレイできません。

■ CD を取り出すには：

再生を停止して、電動スライドドアを開ける（➔ 8 ページ）

お願い

• CD が電動スライドドアに当たらないように取り出してください。
• 電動スライドドアを開いたまま長時間放置しないでください。CD レンズの汚れの原因になります。
• CD レンズに触れないでください。



再生範囲を変える／順不同で聴く

再生モード

• CD を入れておく
• セレクターを「CD」に切り換えておく

1 [再生メニュー] を数回押して「PLAYMODE」を選ぶ



2 [◀] [▶] を押して再生モードを選び、[決定] を押す

再生モード	
1-TRACK：	1 曲を再生
RANDOM：	CD をランダムプレイ
OFF PLAYMODE：	通常の再生

3 [▶/❚❚] を押す

例：1-TRACK



お知らせ

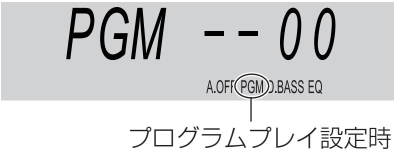
• ランダムプレイ中は、一度再生した曲へスキップできません。

曲を選んで聴く プログラムプレイ

好みの曲を選んで、好きな順に聴くことができます。最大 24 曲までプログラムできます。

- CD を入れておく
- セレクターを「CD」に切り換えておく

1 停止中に、[プログラム] を押す

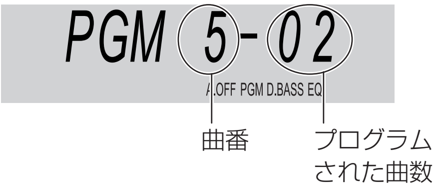


2 数字ボタンを押して曲を選ぶ

10 以上を選ぶとき（例：12）

[≧10] → [1] → [2]

● 続けて選ぶときは、この操作をくり返してください。



3 [▶/❚❚] を押す

プログラム順に再生が始まります。

停止する	再生中に、[■]（停止）を押す • プログラム内容は保持されます。
プログラム内容を確認する	プログラムプレイの停止中に、[⏮] [⏭]（本体では [⏮/◀◀] [▶▶/⏭]）を押す
プログラム曲を追加する	プログラムプレイの停止中に、手順 2 を行う
通常の再生に戻す	プログラムプレイの停止中に、[プログラム] を押して "PGM" を消す • プログラム内容は保持されます。 • プログラムプレイに戻るには、[プログラム] → [▶/❚❚] を押します。
プログラムを 1 曲ずつ取り消す	プログラムプレイの停止中に、[消去] を押す • 押すたびに最後の曲から取り消されます。
プログラムをすべて取り消す	① プログラムプレイの停止中に、[■]（停止）を押す ②「CLR ALL」の点滅中に、[■]（停止）を押す

お知らせ

- プログラムの合計再生時間は表示されません。
- 電源を切ったり、セレクターを切り換えてもプログラム内容は保持されます。
- CD 側の電動スライドドアを開けると、プログラム内容は取り消されます。
- プログラム曲を選んで取り消すことはできません。

くり返し聴く リピートプレイ

リピートプレイは、他の再生方法と組み合わせて設定できます。

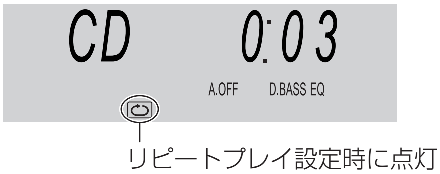
- CD を入れておく
- セレクターを「CD」に切り換えておく

1 [再生メニュー] を数回押して「REPEAT」を選ぶ



2 [◀] [▶] を押して「ON REPEAT」を選び、[決定] を押す

3 [▶/❚❚] を押す



■ 解除するには：

手順 2 で、「OFF REPEAT」を選ぶ

ラジオを聴く

• FM 簡易型アンテナや AM ループアンテナを接続しておいてください。（➔ 7 ページ）

放送局を記憶させて聴く

放送局をチャンネルに記憶させておくと、簡単な操作で聴くことができます。FM/AM 各 15 局まで記憶することができます。

自動で記憶させる（オートプリセットメモリー）

自動で各チャンネルに受信できる放送局を割り当てます。

1 ［ラジオ EXT-IN］（本体では［ラジオ / EXT-IN］）を数回押してセレクターを「FM」または「AM」に切り換える

押すたびに

「FM」 → 「AM」 → 「AUX」 → 「FM」

2 ［オートプリセット］を押す

"PGM" が点滅します。また、周波数が動いて、現在受信できる放送局がチャンネルに記憶されます。

● 途中で止めるときは、［■］（停止）を押してください。

■ オートプリセットメモリーで、割り当てる開始周波数を変更するには：

① ラジオ受信中に、［決定］を数回押して「CURRENT」または「LOWEST」を選ぶ

押すたびに

「CURRENT」 ⇄ 「LOWEST」

CURRENT：	受信中の周波数から割り当て
LOWEST：	一番低い周波数から割り当て

② ［オートプリセット］を押す

手動で記憶させる（マニュアルメモリー）

1 ［◀◀］［▶▶］を押して記憶させたい周波数に合わせる

2 ［プログラム］を押す

3 "PGM" の点滅中に、数字ボタンを押してチャンネルを選ぶ

10 以上を選ぶとき（例：12）

［≧10］ → ［1］ → ［2］

選んだチャンネルに受信中の放送局が記憶されます。

記憶させた放送局を聴く（プリセットチューニング）

［|◀◀］［▶▶|］（本体では［|◀◀/◀◀］［▶▶/▶▶|］）を押してチャンネルを選ぶ

選んだチャンネルの放送局を受信します。



FM ステレオ放送を受信すると点灯

● 数字ボタンでもチャンネルを選べます。

10 以上を選ぶとき（例：12）

［≧10］ → ［1］ → ［2］

お知らせ

• マニュアルメモリーは、オートプリセットメモリーで記憶させたチャンネルに、上書きすることもできます。また、FM モノラル受信（➔ 13 ページ）で記憶させることも可能です。

周波数を合わせて聴く
マニュアルチューニング

1 **[ラジオ EXT-IN]（本体では［ラジオ / EXT-IN]）を数回押してセレクターを「FM」または「AM」に切り換える**

押すたびに

「FM」 ⟶ 「AM」 ⟶ 「AUX」 ⟶ 「FM」

2 **[◀◀]［▶▶］を押して周波数を合わせる**

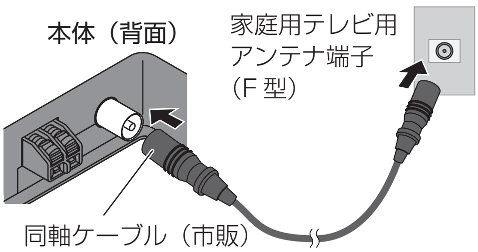
■ 自動選局するには（オートチューニング）：
周波数が動き始めるまで［◀◀］［▶▶］を押したままにする（放送を受信すると止まります。）
- 好みの放送局を受信するまで、同じ操作をくり返します。

お知らせ
- 周囲に妨害電波があると、放送を受信せずに周波数が止まることがあります。

■ FM ステレオ放送で雑音が多いときは（FM モノラル受信）：
① FM 受信中に、[ラジオメニュー］を押す（「FM MODE」が表示されます。）
② [◀］［▶］を押して「MONO」を選び、[決定］を押す（“MONO”が点灯します。）
- ステレオに戻すときは、手順②で「STEREO」を選びます。
- 受信している周波数を変えると、自動的にステレオ放送に戻ります。

■ AM 放送で雑音が多いときは（BP：ビートプルーフ機能）：
① AM 受信中に、[ラジオメニュー］を押す（「B.PROOF」が表示されます。）
② [◀］［▶］を押して「BP 1」または「BP 2」のうち、雑音の少ないものを選び、[決定］を押す
- 周波数を切り換えると、自動的に「BP 1」に戻ります。

■ FM がうまく受信できないときは（テレビアンテナ端子の利用）：
山間部や鉄筋ビルの中など、電波の弱いところやノイズが入るときには、屋外アンテナなどの設置をおすすめします。
① 付属の FM 簡易型アンテナを取り外す
② 同軸ケーブルで、本機の FM アンテナ端子とテレビ用アンテナ端子（F 型）を接続する



- 上記アンテナ端子が地上デジタル放送専用の場合は効果がない場合があります。
- 上記の接続をしてもうまく受信できない場合、FM 専用アンテナ（市販）やブースター（増幅器、市販）の使用が必要になることがあります。詳しくは販売店にご相談ください。

お知らせ
- FM ステレオ放送で雑音が多いときは、サラウンド効果（➡ 23 ページ）を切にすることでも改善できます。

聴く

ラジオを聴く

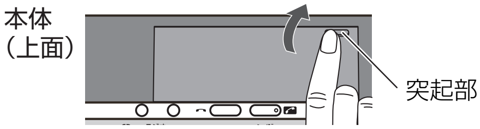
外部機器の音声を聴く

外部機器を接続する

外部機器 ● ポータブル機器 ● ビデオデッキ ● 有線放送 ● BS/CS チューナー など

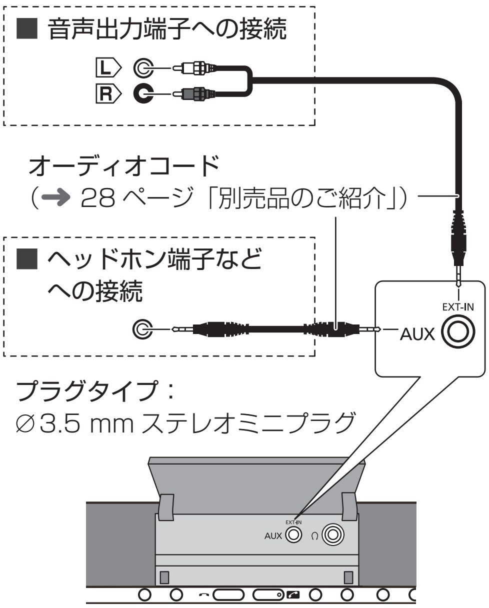
• 電源を切った状態で接続してください。
• 接続機器の取扱説明書もご覧ください。

1 EXT-IN AUX 端子 /Ω 端子ふたを開ける



突起部を奥へ押して開ける

2 EXT-IN AUX 端子に外部機器を接続する



外部機器の音声を本機で聴く

① 外部機器の音質効果を無効にしておく
② 有線放送、BS/CS チューナーの場合は、好みの放送局を受信しておく
③ ポータブル機器の場合、ポータブル機器側で音量を調節しておく
④ 本機の電源を入れておく

1 ［ラジオ EXT-IN］（本体では［ラジオ / EXT-IN］）を数回押してセレクターを「AUX」に切り換える

押すたびに

「AUX」 ⟶ 「FM」
　　　「AM」

AUX

2 外部機器を操作して再生する

■ 音量に過不足を感じるときは：
入力レベルを変更します。

SC-HC55

① ［サウンド］を数回押して「INPUT LEVEL」を選ぶ
② ［◀］［▶］を押して入力レベルを選ぶ

入力レベル	
NORMAL：	音量が大きいとき
HIGH：	音量が小さいとき

SC-HC35

［入力レベル］を数回押す
押すたびに

「NORMAL」 ⇄ 「HIGH」

NORMAL：	音量が大きいとき
HIGH：	音量が小さいとき

お知らせ

• スピーカーから出る音がひずんだり、ノイズが発生する場合は、「NORMAL」に切り換えると改善されることがあります。

iPod/iPhone の音楽を聴く

対応している iPod/iPhone を接続すると、iPod/iPhone の充電、再生ができます。

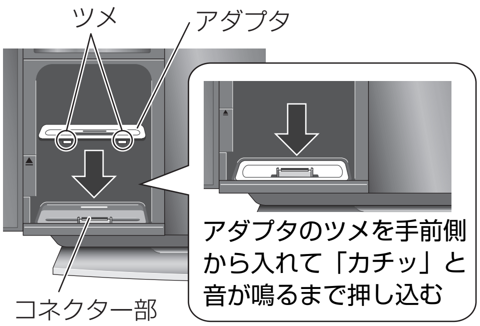
- 接続時、iPod/iPhone ケースなどを付けている場合は取り外してください。
- iPod/iPhone に付属されている説明書などもお読みください。
- iPod/iPhone の対応機種については 16 ページをご覧ください。

iPod/iPhone のデータ管理について、当社では一切の保証はしていません。

iPod/iPhone を本機に接続する

1 電動スライドドアを開ける (➔ 8 ページ)

2 iPod/iPhone 専用のアダプタを取り付ける



- 正しく接続するために、iPod/iPhone 専用のアダプタは必ず取り付けてください。アダプタを取り付けないと、コネクター部の破損の原因となります。
- iPod/iPhone にアダプタが付属されていない場合は、Apple 社からお買い求めください。

3 ① iPod レバーの［▲］を押して、iPod レバーを手前に倒す
② iPod/iPhone を接続する



4 iPod レバーの［▲］を「カチッ」※と音が鳴るまで押してロックする



5 電動スライドドアを閉める (➔ 8 ページ)

■ iPod/iPhone を取り外すには：
① 再生を停止して、電動スライドドアを開ける（➔ 8 ページ）
② iPod レバーを倒し、iPod/iPhone を取り出す
③ iPod レバーの［▲］を「カチッ」※と音が鳴るまで押してロックし、電動スライドドアを閉める（➔ 8 ページ）

お願い

- iPod/iPhone の接続や取り外しは、iPod レバーを倒して、ゆっくりと抜き差ししてください。iPod レバーを倒さずに抜き差しすると、コネクター部の破損の原因となります。
- iPod/iPhone 挿入部に iPod/iPhone 以外の物を入れないでください。
- iPod レバーのロックが外れた場合は、iPod レバーの［▲］を 2 段階押して戻してください。

お知らせ

※ iPod レバーがロックされていないと、CD 側の電動スライドドアが正常に開閉しない場合があります。その場合は、iPod 側の電動スライドドアを開いて、iPod レバーをロックしてください。

iPod/iPhone を本機で充電する

本機に iPod/iPhone を接続する

例：電源切時



● 充電が完了したかどうかは iPod/iPhone の画面で確認してください。

お願い

- 充電完了後、iPod/iPhone を長期間使用しないときは、本機から外しておいてください。充電後の自然放電により電池が消耗しても追加充電はされません。

iPod/iPhone の音楽を聴く（つづき）

iPod/iPhone の音楽を本機で聴く

1 **本機に iPod/iPhone を接続する**
(➜ 15 ページ)

2 SC-HC55
[iPod] を数回押して
セレクターを「IPOD」に切り換える

押すたびに

「IPOD」 ⟶ 「INTERNET RADIO」(I.RADIO) ⟶ 「BLUETOOTH」 ⟶ 「IPOD」

SC-HC35
[iPod] を押してセレクターを「IPOD」に切り換える

3 **[▶/❚❚] を押す**

● [▶/❚❚] は短く押してください。長く押すと再生できない場合があります。

■ 本機のリモコンでの操作※

一時停止する	[▶/❚❚] または [■]（停止）を押す • 再開するには [▶/❚❚] を押す
曲を飛ばす（スキップ）	[⏮] [⏭]（本体では [⏮/◀◀] [▶▶/⏭]）を押す
早送り / 早戻しする（サーチ）	[◀◀] [▶▶]（本体では [⏮/◀◀] [▶▶/⏭]）を聴きたい位置まで押したままにする
選曲メニュー画面に入る	[iPod MENU] を押す • 選んで決定するには [▲] [▼] を押して選び、[決定] を押す • 一つ前の画面に戻るときは [iPod MENU] を押す
音量を調節する	[＋ 音量 －] を押す

お知らせ

※ iPod/iPhone の機種によっては、動作ができない場合があります。
• 動作の表示は iPod/iPhone の画面で確認できます。
• 一部の機種では、アルバムやアーティストを選曲し直す場合に、本機から取り出して iPod 側で操作することが必要になります。

■ 本機で使用できる iPod/iPhone
（2011 年 1 月現在）

名前	容量
iPod touch 第 4 世代	8 GB, 32 GB, 64 GB
iPod nano 第 6 世代	8 GB, 16 GB
iPod touch 第 3 世代	32 GB, 64 GB
iPod nano 第 5 世代（ビデオカメラ）	8 GB, 16 GB
iPod touch 第 2 世代	8 GB, 16 GB, 32 GB
iPod classic	120 GB, 160 GB (2009)
iPod nano 第 4 世代（ビデオ）	8 GB, 16 GB
iPod classic	160 GB (2007)
iPod touch 第 1 世代	8 GB, 16 GB, 32 GB
iPod nano 第 3 世代（ビデオ）	4 GB, 8 GB
iPod classic	80 GB
iPod nano 第 2 世代（アルミニウム）	2 GB, 4 GB, 8 GB
iPod 第 5 世代（ビデオ）	60 GB, 80 GB
iPod 第 5 世代（ビデオ）	30 GB
iPod nano 第 1 世代	1 GB, 2 GB, 4 GB

名前	容量
iPhone 4	16 GB, 32 GB
iPhone 3GS	8 GB, 16 GB, 32 GB
iPhone 3G	8 GB, 16 GB

• ご使用の iPod/iPhone またはそのバージョンにより、通常と異なる動作や表示などを行う場合がありますので、最新のバージョンをご使用ください。
• 詳しくは、下記サポートページで確認してください。
http://panasonic.jp/support/audio/connect/

インターネットラジオを楽しむ SC-HC55 のみ

インターネットラジオのアプリケーション「vTuner for Panasonic」を、iPhone/iPod touch にインストールすると、本機で操作して楽しむことができます。

1. **「vTuner for Panasonic」をインストールした iPhone/iPod touch を本機に接続する**（➔ 15 ページ）
2. **[iPod]を数回押してセレクターを「INTERNET RADIO」（I.RADIO）に切り換える**

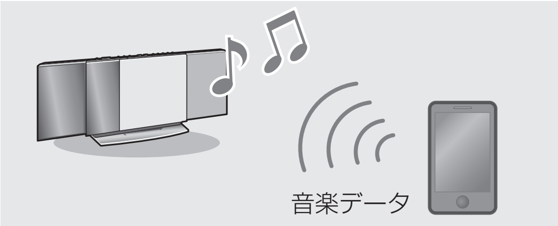
押すたびに

「INTERNET RADIO」（I.RADIO） → 「BLUETOOTH」 → 「IPOD」 → 「INTERNET RADIO」（I.RADIO）

- 「vTuner for Panasonic」の使用できる iPhone/iPod touch の機種やバージョン、購入方法、インストールの方法、操作方法については、下記サイトをご覧ください。
  http://radio.vtuner.com/panasonic/jp/

ワイヤレスで音楽を楽しむ SC-HC55 のみ

本機では、iPhone などの Bluetooth® 対応機器と接続して再生ができます。例えば、iPhone を手元で操作して、本機のスピーカーで音楽を聴いたり、本機のリモコンを操作して、パソコンや携帯電話の音楽を聴いたりできます。



Bluetooth®（ブルートゥース）とは…
電子機器同士をワイヤレス（無線）でつなぐことにより、ケーブルを使用することなく通信できる技術のことです。25 ページ「Bluetooth® 使用上のお願い」もご覧ください。

推奨する Bluetooth® 対応機器の最新のサポート情報は、下記サポートサイトをご確認ください。
http://panasonic.jp/support/audio/

■ 本機で Bluetooth® を楽しむには
接続機器が以下に対応している必要があります。

Bluetooth® バージョン
- Bluetooth® 標準規格 Ver.1.1、1.2、2.0+EDR または 2.1+EDR のいずれか

Bluetooth® プロファイル
- Advanced Audio Distribution Profile (A2DP)
- Audio/Video Remote Control Profile (AVRCP)

- 本機は SCMS-T 方式で著作権保護されている A2DP の受信に対応しています。
- 本機から Bluetooth® 対応機器への送信はできません。
- 携帯電話の仕様や設定により、接続できない場合や、操作方法、表示、動作が異なる場合があります。
- 本機と接続機器が近くにあっても電波の状態によっては、音が途切れたり雑音が入ったりする場合があります。
  また、接続機器をポケットやかばんに入れた状態で Bluetooth® 接続する場合、ポケットやかばんの位置、接続機器の向きによっては、音が途切れたり雑音が入る場合があります。

機器を登録して再生する

機器登録が必要です。下記の手順で、お持ちの Bluetooth® 機器を本機に登録してください。

本機側での操作

1 [iPod ⓑ] を数回押してセレクターを「BLUETOOTH」に切り換える

押すたびに

「BLUETOOTH」→「IPOD」→「INTERNET RADIO」(I.RADIO) →「BLUETOOTH」

PAIRING

● 「BLUETOOTH READY」と表示された場合は、「登録済みの機器を再生する」(➜ 19ページ)の手順 2 から行ってください。

接続機器側での操作

2 Bluetooth® の設定画面などを開き、機器名（SC-HC55）を選んで登録する※1

iPod/iPhone の場合は、登録が済むと自動的に接続されます。
本体側の表示部

LINKING

Bluetooth® 接続すると、登録機器を表示後、元の画面に戻ります。(Bluetooth® ランプが点灯します。)
上記以外にも設定が必要な場合があります。詳しくは接続機器の取扱説明書などをご覧ください。

3 接続機器側の音楽再生画面で再生を開始する

● 接続機器側で操作してください。
（音量は本機側で調節してください。）

お知らせ

※1 Bluetooth® バージョンが 2.1+EDR に対応していない機器は、パスキーの入力が必要です。「0000」（本機（SC-HC55）のパスキー）を入力してください。

登録済みの機器を再生する

登録済みの Bluetooth® 機器と本機を Bluetooth® 接続します。

本機側での操作

1 **[iPod] を数回押してセレクターを「BLUETOOTH」に切り換える**

押すたびに

「BLUETOOTH」 → 「IPOD」 → 「INTERNET RADIO」(I.RADIO) → 「BLUETOOTH」

BLUETOOTH

⇩ ⇧

READY

接続機器側での操作

2 **Bluetooth® の設定画面などを開き、機器名(SC-HC55)を選んで接続する**

詳しくは接続機器の取扱説明書などをご覧ください。

本体側の表示部

LINKING

Bluetooth® 接続すると、接続機器を表示後、元の画面に戻ります。(Bluetooth® ランプが点灯します。)

3 **接続機器側の音楽再生画面で再生を開始する**

● 接続機器側で操作してください。(音量は本機側で調節してください。)

接続を解除する

• セレクターを「BLUETOOTH」に切り換えておく

1 **[メニュー] を押す**

2 **「DISCONNECT?」が表示されるので、[決定] を押す**

3 **「OK?」が表示されるので、[◀] [▶] を押して「YES」を選び、[決定] を押す**

「DISCONNECTING」が表示され、受信待機状態になります。

お知らせ

• 接続機器側で Bluetooth® 送信を中止しても受信を止めることができます。

機器を追加登録して再生する

新たに Bluetooth® 機器を追加登録して再生を行います。本機は、最大 6 つまで Bluetooth® 機器を登録しておくことができます。

• セレクターを「BLUETOOTH」に切り換えておく
• Bluetooth® 接続を解除しておく(➜ 左記)

本機側での操作

1 **[メニュー] を数回押して「NEW DEV.」を選び、[決定] を押す**

接続機器側での操作

2 **手順 1 から 5 分以内に、Bluetooth® の設定画面などを開き、機器名(SC-HC55)を選んで登録する※2**

● 5 分経過した場合は、手順 1 からやり直してください。

3 **接続機器側の音楽再生画面で再生を開始する**

● 接続機器側で操作してください。(音量は本機側で調節してください。)

お知らせ

※2 Bluetooth® バージョンが 2.1+EDR に対応していない機器は、パスキーの入力が必要です。「0000」(本機(SC-HC55)のパスキー)を入力してください。

• 機器登録で最大登録数を超えて登録すると、接続履歴が古いものから上書きされます。
• 登録済みの機器を登録した場合は、上書きされます。
• Bluetooth® 接続中は機器登録できません。機器登録をする場合は、一度接続を解除してください。

ワイヤレスで音楽を楽しむ SC-HC55 のみ （つづき）

接続機器を本機で操作する

Bluetooth® 接続機器を、本機のリモコンや本体ボタンで操作することができます。接続機器がパソコンの場合などに便利です。

■ 本機のリモコンでの操作

停止する	[■]（停止）を押す
一時停止する	[▶/❚❚] を押す • 再開するにはもう一度押す
曲を飛ばす※3（スキップ）	[⏮] [⏭]（本体では [⏮/◀◀] [▶▶/⏭]）を押す
音量を調節する	[＋ 音量 －] を押す
接続機器の名前などを見る	[表示切換] を数回押す

お願い

• iPod/iPhone で、Bluetooth® の設定画面を開いたままにしたり Bluetooth® の登録や接続などの操作を行ったりすると、本機が受信している音声が途切れることがあります。その場合は、iPod/iPhone の Bluetooth® 設定画面を閉じてください。
• [▶/❚❚] を押しても Bluetooth® 受信再生が始まらない場合は、一度接続を解除（➡ 19 ページ）してから、次のいずれかの操作を試してください。
  - もう一度 [▶/❚❚] を押して、再接続する
  - 接続機器側の音楽再生機能を動作させた状態で、本機の [▶/❚❚] を押す
  - 接続機器側から Bluetooth® 接続を行う（詳しくは接続機器の取扱説明書をご覧ください。）

お知らせ

※3 機器によっては操作できないものもあります。
• Bluetooth® 接続で音楽を再生している iPod/iPhone を本機のコネクター部に接続すると、「BLUETOOTH」セレクターでは音声が出なくなります。iPod/iPhone を本機のコネクタ部に接続した場合は、セレクターを「IPOD」にしてお楽しみください。

Bluetooth® 機能の設定をする

• セレクターを「BLUETOOTH」に切り換えておく

■ 音量に過不足を感じるときは（入力レベルの変更）:

① [サウンド] を数回押して「INPUT LEVEL」を選ぶ
② [◀] [▶] を押して「0」「+1」「+2」のいずれかを選ぶ

0：	音量が大きいとき
+1：	音量が少し小さいとき
+2：	音量が小さいとき

■ 通信時の品質を設定するには：

音質、通信のどちらを重視するかを設定します。
• お買い上げ時の設定は「MODE 1」です。
① Bluetooth® の接続が解除されている状態で、[ᛒ メニュー] を数回押して「LINK MODE」を選ぶ
② [◀] [▶] を押して「MODE 1」または「MODE 2」を選び、[決定] を押す

MODE 1：	Bluetooth® 通信中の通信状態の安定性を重視（通信が途切れにくくなります。）
MODE 2：	Bluetooth® 通信中の音質を重視

■ 信号受信時の本機の動作を設定するには：

本機の電源入時に Bluetooth® のオーディオ信号を受信したとき、自動的に「BLUETOOTH」セレクターに切り換えるかどうかを設定します。
• お買い上げ時の設定は「ON」です。
① Bluetooth® の接続が解除されている状態で、[ᛒ メニュー] を数回押して「AUTO LINK」を選ぶ
② [◀] [▶] を押して「ON」または「OFF」を選び、[決定] を押す

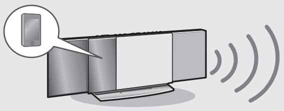
ON：	自動的にセレクターを切り換え
OFF：	手動でセレクターを切り換え

お知らせ

• 入力レベルの設定は「BLUETOOTH」セレクターのみで有効になります。
• 通信品質の設定を本機側で音質重視（「MODE 2」）にしても、接続機器側の設定が通信品質重視の場合、接続機器側の設定が優先されます。
•「AUTO LINK」の設定は A2DP のみに対応しています。

iPhoneを接続したまま通話する SC-HC55 のみ

Bluetooth® 接続（➔ 18～20 ページ）をしている携帯電話に電話がかかってきた場合に、本機のスピーカーや通話マイクを使って電話に出ることができます。（ハンズフリー機能）iPhone の場合は、本機に入れたまま通話ができるので便利です。（本機での発信操作はできません。）



■ 本機でハンズフリー機能を使うには
接続機器が以下に対応している必要があります。

Bluetooth® プロファイル
• Hands-Free Profile（HFP）

• ヘッドセットプロファイルには対応していません。

電話がかかってくると、音楽の再生が消音され、本機のスピーカーから着信音が聞こえます。（「IN CALL」が表示されます。）

1 電話がかかってきたら、[ ] を押す
「CALLING」が表示され、Bluetooth® ランプが点滅します。
● [ ] を押すと、着信を拒否します。

2 本体の通話マイクを使って通話をする
本機のスピーカーから相手側の音声が聞こえます。

3 通話が終わったら、[ ] を押す

■ 本機のリモコンでの操作

マイクの声を消音する	通話中に、[消音] を押す 「MIC MUTE」が表示され、相手側にマイクの音が聞こえなくなります。 • 解除するにはもう一度押す
受話音量を調節する	[＋ 音量 －] を押す

■ ハンズフリーから通常の通話に切り換えるには：
① 通話中に、[ ] を押す（音声が転送されます。）
② 本機から iPhone を取り出して操作し、通話する
• 通話マイクでの通話に戻すには、もう一度 [ ] を押します。

お知らせ
• 着信音や通話中の受話音量は、入力レベルの変更（➔ 20 ページ）によっても変わります。
• 消音している場合でも、着信中は一時的に解除されます。
• ハンズフリー通話中は、CD は一時停止になります。
• 雑音が発生した場合、携帯電話を本体の通話マイクから少し離してお使いください。
• iPhone を本機に装着してハンズフリー通話待機などを行う場合は、充電後の自然放電による電池の消耗を抑えるために、iPhone の自動ロック設定を有効にしておくことをおすすめします。

時計を合わせる

• 本機の時計は 24 時間表示です。

1 [時計 / タイマー] を押す

CLOCK
↓
--:--

2 時計画面の表示中に、[▲] [▼] を押して時計を合わせる
● 時刻は数字ボタンでも入力できます。
例：16 時 5 分
[1] → [6] → [0] → [5] を押す
（入力を間違えた場合は [消去] を押す）

3 [決定] を押す
押した時点から、時計がスタートします。

■ 時計を確認するには：
[時計 / タイマー] を押す
• 時計の確認は、電源切時でも可能です。

お願い
• コンセントを抜いたり停電したときは、時計を合わせ直してください。

お知らせ
• 時計の精度には若干の誤差がありますので、定期的な時刻補正をおすすめします。

おやすみタイマー

指定した時間が経過すると、自動的に再生を停止し、電源が切れます。

[スリープ] を数回押して おやすみタイマーの時間を選ぶ
押すたびに

「30MIN」 → 「60MIN」 → 「90MIN」
↑ 「OFF」 ← 「120MIN」 ←

30MIN
SLEEP A.OFF D.BASS EQ

おやすみタイマー設定時に点灯

■ 解除するには：
[スリープ] を数回押して「OFF」を選ぶ

■ 残り時間を確かめるには：
[スリープ] を押す
• 数回押すと設定を変えることができます。

おめざめタイマー

設定した時刻になると、電源が入って指定した音源を再生し、終了時刻になると自動的に電源が切れます。
- 3 種類の内容を設定して、使い分けることができます。
- 音源が「CD」の場合は、再生モードやプログラム設定をしておくことが可能です。
- 「BLUETOOTH」「I.RADIO」セレクターのおめざめタイマーはできません。

- 時計を合わせておく（➔ 21 ページ）
- 再生する音源（CD、ラジオ、iPod/iPhone、外部機器）を準備しておく
- （ラジオの場合）FM/AM の放送局をチャンネルに記憶させておく（➔ 12 ページ）

動作時刻を設定する

1 ［時計 / タイマー］を数回押してタイマーを選ぶ

押すたびに

「◴PLAY 1」⟶「◴PLAY 2」⟶「◴PLAY 3」
↑── 「CLOCK」 ⟵ （元の画面） ⟵┘

● どの番号を選んでもかまいません。

2 ① 設定画面の表示中に、［▲］［▼］を押して開始時刻を設定する

● 数字ボタンでも入力できます。

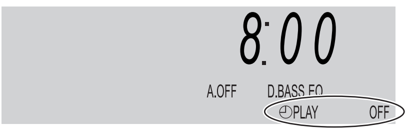
例：



② ［決定］を押す

3 ① ［▲］［▼］を押して終了時刻を設定する

● 数字ボタンでも入力できます。
● 開始時刻から終了時刻までの時間が 1 分以上になるように設定してください。



② ［決定］を押す

タイマーを動作させる

1 ① 再生したい音源のセレクターに切り換える

② 再生する音量に合わせる

2 ［再生 ◴］を数回押して動作させたいタイマー（「◴PLAY 1」「◴PLAY 2」「◴PLAY 3」）を選ぶ



3 ［電源］を押して電源を切る

● 電源を切らないと、タイマーは動作しません。

タイマーを設定すると
設定した時刻になると、設定した音量までフェードイン（徐々に大きく）して再生します。（動作中は“◴PLAY ”が点滅します。）

■ タイマーを無効にするには：
［再生 ◴］を数回押して“◴PLAY ”を消す

■ 設定したタイマーの内容を確認するには：
［再生 ◴］を押す
- 電源切時の場合は、［時計 / タイマー］を 2 回押すと、設定しているタイマーが表示されます。

お願い
- 音源に「AUX」を選んだ場合は、外部機器側も同じ時刻に動作するように設定してください。

お知らせ
- 一度に動作できるおめざめタイマーは 1 種類のみになります。
- タイマー動作設定後にも、通常の再生操作などが可能です。再生時に音源や音量を変更しても、タイマー動作時は設定した音源と音量になります。（再生後は必ず電源を切ってください。）
- タイマーは無効にしない限り、設定した時刻に動作します。
- おやすみタイマー（➔ 21 ページ）とおめざめタイマーは組み合わせて使えますが、おやすみタイマーが優先されます。

音質・音場効果を楽しむ

好みの音質を楽しむ

好みの音質を選ぶことができます。（EQ：イコライザー）

［プリセット EQ］を数回押して
好みの音質を選ぶ

押すたびに

「HEAVY」→「SOFT」→「CLEAR」→「VOCAL」→「FLAT」→「HEAVY」



「FLAT」以外の設定時に点灯

HEAVY：	ロックなど、パンチを効かせるとき
SOFT：	BGM として聴くとき
CLEAR：	ジャズなど、高音部を鮮明にするとき
VOCAL：	ボーカルにつやを出したいとき
FLAT：	音質効果を使わないとき

豊かな低音で聴く

低い周波数の重低音を大きくします。

［D.BASS］を数回押す

押すたびに

「ON D.BASS」⇄「OFF D.BASS」



D.BASS 設定時に点灯

お知らせ

• 再生する音源によっては効果の少ないものもあります。

低域 / 高域を調整する

バス（低域）とトレブル（高域）のレベル調整ができます。

1. **［サウンド］を数回押して「BASS」または「TREBLE」を選ぶ**
2. **［◀］［▶］を押してレベルを選ぶ**

例：



• それぞれ「－ 4」から「＋ 4」まで調整できます。

サラウンド効果を楽しむ

1. **［サウンド］を数回押して「SURROUND」を選ぶ**
2. **［◀］［▶］を押して「ON SURROUND」を選ぶ**



サラウンド設定時に点灯

■ 解除するには：

手順 ❷ で、「OFF SURROUND」を選ぶ

便利な機能

電源の切り忘れを防ぐ オートオフ

次のすべての状態で、ボタン操作のない状態が約30 分以上続くと、自動的に電源が切れます。

- CD の停止中 / 一時停止中
- 外部機器や iPod/iPhone が無音に近い状態
- SC-HC55 のみ Bluetooth® 機器の未接続状態

セレクターが「FM」「AM」以外のときに、［オートオフ］を数回押して“A.OFF”を点灯させる

押すたびに

点灯 ⇄ 消灯

例：



オートオフ設定時に点灯

■ 解除するには：
［オートオフ］を押して“A.OFF”を消灯させる

お知らせ

- オートオフ機能は無効にしない限り、電源を切 / 入しても働きます。
- SC-HC55 のみ セレクターが「BLUETOOTH」以外でも、Bluetooth® 接続中はオートオフ機能は働きません。

表示部の明るさを変える

表示部の明るさが変わるまで［—ディマー］を押したままにする

上記操作をするたびに

暗い ⇄ 明るい

リモコンモードを変更する

他の機器のリモコンで本機が誤動作するときに行います。

- お買い上げ時の設定は「REMOTE 1」です。

本体側のリモコンモードを切り換えてから、リモコン側を切り換えます。

本体側を「REMOTE 2」に切り換える

1. **［ラジオ EXT-IN］（本体では［ラジオ / EXT-IN］）を数回押してセレクターを「AUX」に切り換える**
2. **本体の［ラジオ /EXT-IN］を押したまま、リモコンの［2］を 2 秒以上押したままにする**



リモコン側を「REMOTE 2」に切り換える

3. **リモコンの［決定］を押したまま、［2］を 4 秒以上押したままにする**

設定が終わったら動作を確認してください
リモコンの操作ができれば、正しく設定されています。リモコンが働かないときは、画面に表示されている数字にリモコン側を切り換えてください。
例：「U30 REM2」と表示された場合
リモコンの［決定］を押したまま、［2］を 4 秒以上押したままにする。

■ リモコンモードを「REMOTE 1」に戻すには：

① 手順 2 で本体の［ラジオ EXT-IN］を押したまま、リモコンの［1］を 2 秒以上押したままにする
② リモコンの［決定］を押したまま、［1］を 4 秒以上押したままにする

Bluetooth® 使用上のお願い SC-HC55 のみ

■ 使用周波数帯

本機は 2.4 GHz 帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

■ 周波数表示の見かた（認定銘板に記載）



Bluetooth® 機器使用上の注意事項

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに場所を変更するか、または電波の発射を停止した上、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置など（たとえば、パーティションの設置など）についてご相談してください。
3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合せください。

連絡先：パナソニック株式会社
パナソニック　お客様ご相談センター
（➔ 34 ページ）

■ 機器認定

本機は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、無線局の免許は不要です。ただし、本機に以下の行為を行うと法律で罰せられることがあります。

- 分解 / 改造する

■ 使用制限

- 日本国内でのみ使用できます。
- すべての Bluetooth® 機能対応携帯電話とのワイヤレス通信を保証するものではありません。
- ワイヤレス通信する Bluetooth® 機器対応携帯電話は、The Bluetooth SIG, Inc. の定める標準規格に適合し、認証を受けている必要があります。ただし、標準規格に適合している携帯電話であれば、一部動作する場合がありますが、携帯電話の仕様や設定により、接続できないことがあり、操作方法･表示･動作を保証するものではありません。
- Bluetooth® 標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合があります。ワイヤレス通信時はご注意ください。
- ワイヤレス通信時に発生したデータおよび情報の漏えいについて、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

■ 使用可能距離

見通し距離約 10 m 以内で使用してください。
間に障害物や近くに干渉機器がある場合や、人が間に入った場合、周囲の環境、建物の構造によって使用可能距離は短くなります。上記の距離を保証するものではありませんのでご了承ください。

■ 他機器からの影響

- 本機との距離が近いと電波干渉により、正常に動作しない、音飛びや雑音が発生するなどの不具合が生じる可能性があります。機器により以下の距離を保って使用することをおすすめします。
  - 電子レンジ / ワイヤレス LAN … 約 5 m 以上
  - 電気製品 /AV 機器 /OA 機器 / デジタルコードレス電話 / ファクスなど … 約 2 m 以上
- 放送局などが近くにあり周囲の電波が強すぎると、正常に動作しないことがあります。
- ワイヤレス LAN を約 5 m の距離を保って使用していても、音が途切れたり雑音が入る場合は、ワイヤレス LAN の電源を切ってください。

■ 用途制限

本機は一般用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途※での使用を想定して設計･製造されたものではありません。ハイセイフティ用途に使用しないでください。

※ ハイセイフティ用途とは、以下のような、きわめて高度な安全性が要求され、直接生命･身体に重大な危険性を伴う用途のことをいいます。
例：原子力施設における核反応制御 / 航空機自動飛行制御 / 航空交通管制 / 大量輸送システムにおける運航制御 / 生命維持のための医療機器 / 兵器システムにおけるミサイル発射制御など

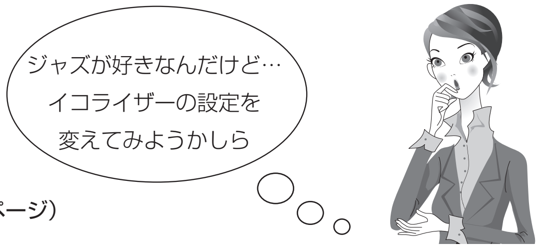
Q&A（よくあるご質問）

Q（質問）		A（回答）	参照ページ
他の機器との接続	有線放送をつなぎたい	EXT-IN AUX 端子に接続します。	14
	アナログレコードプレーヤーを接続したい	フォノイコライザー内蔵タイプのプレーヤーなら、EXT-IN AUX 端子に接続して使用可能です。（機器によってはコネクタ変換が必要です。）内蔵していないプレーヤーの場合は、外部にフォノイコライザー（他社品）を接続して EXT-IN AUX 端子に接続してください。	14
その他	長期間使用しないのだが、どうすれば？	節電のために電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いておくことをおすすめします。ただし、再使用時には、時計の再設定が必要です。	—
	再生時の音質を変えたい	イコライザーの設定を変えてみるのも一つの方法です。	23

お買い上げ時の音質は…？

お買い上げ時には、EQ（イコライザー）が「HEAVY」（重低音と高音を強調する音質）に、D.BASS が「ON D.BASS」（重低音を強調する音質）に設定されています。

お好みの音質に設定してお楽しみください。（➜ 23 ページ）



こんな表示が出たら

表　示	意　味	処　理
ADJUST CLOCK	タイマーを動作させるには時計設定が必要です。	時計を合わせてください。（➜ 21 ページ）
ADJUST TIMER	タイマーの開始時刻と終了時刻を設定していません。	タイマーの開始時刻と終了時刻を設定してください。（➜ 22 ページ）
SC-HC55 のみ CANNOT SET	おめざめタイマーを動作設定できません。	「BLUETOOTH」「I.RADIO」以外のセレクターに切り換えてください。
CHECKING CONNECTION	接続した iPod/iPhone を確認中です。	表示が消えてから操作を行ってください。
ERROR	誤った操作をしています。	再度操作をやり直してください。
F61 F76	異常が発生しました。（本システムは異常を検出すると、保護回路が働いて、電源を自動的に切ります。）	著しい大音量で聴いていませんか。また、異常に暑い場所で使用していませんか。しばらく待ってから再び電源を入れてください。（保護回路の動作が解除されます。）それでも同じ現象が起こる場合は、電源を切り、電源プラグを抜いたうえで、販売店にご相談ください。
SC-HC55 のみ F70	Bluetooth® のモジュール異常表示です。	電源を切ったあと、電源プラグを抜き差しして、再度電源を入れてください。それでも表示される場合は、電源プラグを抜いて販売店へご相談ください。
ILLEGAL OPEN	電動スライドドアが正常な位置にありません。	一度電源を切ってください。
NODEVICE	iPod/iPhone が接続されていません。	iPod レバーを操作して、iPod/iPhone を接続し、iPod/iPhone がロックされた状態にしてください。（➜ 15 ページ）
	iPod/iPhone が操作できない状態です。	iPod/iPhone の状態を確認してください。
NO DISC	CD が入っていません。または、曲の入っていない CD-R などを入れました。	再生できる CD を入れてください。
NO PLAY	再生できない曲です。	（その曲をスキップして再生します。）
	再生できないディスクです。	再生できるディスク（➜ 9 ページ）に取り換えてください。
NOT SUPPORTED	対応していない iPod/iPhone です。	iPod/iPhone が対応している機種かどうか、確認してください。（➜ 16 ページ）
PGM FULL	プログラム曲数が 24 曲を超えようとしています。	（これ以上のプログラムはできません。）
READING	CD の情報を読み込んでいます。	「READING」が消えてから操作してください。
SC-HC55 のみ START ERROR	iPhone/iPod touch のアプリケーションが起動できません。	iPhone/iPod touch の状態を確認してください。 詳しくは下記サイトでご確認ください。 http://radio.vtuner.com/panasonic/jp/
U30 REM1 U30 REM2	リモコンモードの設定が本体と合っていません。	「リモコンモードを変更する」（➜ 24 ページ）でリモコン側のリモコンモードを切り換えてください。
UNLOCKED	iPod レバーがきちんとロックされていません。	iPod レバーをきちんとロックしてください。（➜ 15 ページ）

故障かな！？

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

長時間使用すると、本体が熱を持ちますが、使用には差しつかえありません。

こんなときは	ここをご確認ください	参照ページ
■システム全体に共通		
電源が入っているのに何の操作も受け付けなくなった	次の操作をして、本機を購入時の設定に戻してください。 ① 一度電源コードを抜き、本体の［電源 ⏻/I］を押しながら電源コードを接続する。 ② 表示部に「－－－－－－－－」が表示されるまで、本体の［電源 ⏻/I］を押したままにする。	—
電源が入っているのにリモコンや本体で一部の操作ができない	CD 側の電動スライドドアが開いていて、表示部が見えない状態になっていませんか。電動スライドドアを閉めてから使用してください。	—
再生中に「ブーン」という音がする	接続コードの近くに他機器の電源コードや蛍光灯がありませんか。電気器具を本機からできるだけ離してください。	—
	電源コードを逆に差しかえてみてください。	—
■CD		
• CD を入れても、表示部が変わらない • 再生ボタンを押しても再生が始まらない	規格外の CD を使用していませんか。	9
	寒いところから急に暖かいところに持ってきたなど、急激な温度差で、レンズ部に「つゆつき」が生じることがあります。故障の原因になりますので、「つゆつき」が起こりそうなときは、部屋の温度になじむまで（約 2 ～ 3 時間）、電源を切ったまま放置してください。	—
特定の箇所が正常に再生しない	CD を柔らかい布でふいてください。	9
電動スライドドアが正しく閉まらない	電源を入れ直してください。	—
■ラジオ		
• FM 放送や AM 放送がうまく受信できない • 雑音、ひずみが多い • "ST" が表示されたり消えたりする	FM 簡易型アンテナや AM ループアンテナを接続してください。	7
	アンテナの設置場所や向きを変えてみてください。	—
	アンテナ線と電源コードをできるだけ離してください。	—
	送信所が遠かったり、近くに大きなビルや山がある場合は、屋外アンテナを利用してみてください。	13
	テレビ、ビデオデッキ、パソコン、BS チューナーなどの電源が入っていませんか。また、近くで携帯電話の充電をしていませんか。各機器の電源を切る、または本機と各機器との距離を離してください。	—
■iPod/iPhone		
iPod/iPhone を接続しても、認識されない	iPod/iPhone が対応している機種かどうか、確認してください。	16
	iPod/iPhone の状態を確認してください。	—
• ［iPod MENU］で操作ができない • 充電が完了しても iPod/iPhone の電源が切れない	iPod/iPhone の状態を確認してください。 詳しくは、サポートページで確認してください。 http://panasonic.jp/support/audio/connect/	—
■Bluetooth® SC-HC55 のみ		
接続機器の名前が「＊」で表示される	名前が不明な機器は「＊＊＊＊＊」と表示されます。本機で表示できない文字は「＊」に置き換えられます。	—
• 音が途切れる • 音が飛ぶ • 雑音が多い	Bluetooth® 通信中に、次のことが考えられます。 • 携帯電話の影響で雑音が入る場合があります。 • 携帯電話の仕様や設定により、携帯電話の操作時に音が途切れる場合があります。	—
	Bluetooth® 通信使用可能距離（約 10 m）を超えている、もしくは間に障害物があったり、他機器から影響を受けたりしていませんか。接続機器に近づける、また障害物を避けてご使用ください。	—
	通信品質が音質重視になっていませんか。「MODE 1」に設定してみてください。	20
「CALLING」が表示されているのに本機の［📞］を押しても通話ができない	本機は割込通話、転送でんわサービス、留守番電話サービスなどに対応していません。通話中に割込着信などが入り、現在の通話を切った後にその着信を受けようとしても、本機で通話操作ができない場合があります。その場合は、携帯電話側で通話操作をしてください。	21

故障かな！？（つづき）

こんなときは	ここをご確認ください	参照ページ
■ センサーオープン / クローズ機能 SC-HC55 のみ		
• 電動スライドドアが開かない • うまく操作できない	センサーの感度設定が「OFF SENSOR」になっていませんか。	8
	暗い色のものをかざすと、電動スライドドアセンサーは反応しないことがあります。	—
	蛍光灯の光などによって、電動スライドドアセンサーが誤作動することがあります。蛍光灯の真下などの明るい場所には置かないでください。	—
CD 側と iPod/iPhone 側、両方のセンサーオープン / クローズライトが同時に点滅する	本体を棚などの中に入れている、CD 側と iPod/iPhone 側の電動スライドドアセンサーに同時に手をかざしている、もしくは電動スライドドアセンサーの近くにものを置いていませんか。	8
■ リモコン		
リモコン操作ができない	乾電池の ⊕ ⊖ を正しく入れてください。	2
	新しい乾電池と交換してください。	2
	本体側とリモコン側のリモコンモードが異なっている場合は、リモコン側のリモコンモードを本体と合わせてください。	24
• 本機のリモコン操作で他の機器が誤動作する • 他の機器のリモコンで本機が誤動作する	他の機器が干渉しないように、本機のリモコンモードを変更してください。	24

別売品のご紹介

2011 年 1 月現在の品番です。

■ 外部機器とつなぐには

● オーディオコード（ステレオミニプラグ～ピンプラグ）

• RP-CAPM3G15（1.5 m）

● オーディオコード（ステレオミニプラグ～ステレオミニプラグ）

• RP-CAM3G15（1.5 m）

お手入れ

電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。

• 汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた柔らかい布で軽くふいてください。
• スピーカーネット部は、乾いたきめの細かい布（眼鏡ふきなど）でふいてください。（ティッシュや、繊維がほどけやすい布（タオルなど）は使用しないでください。）
• ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。
• 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

Made for iPod iPhone

「Made for iPod」「Made for iPhone」とは、それぞれ iPod, iPhone 専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。
アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。
iPod, iPod classic, iPod nano, iPod touch は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。



音のエチケット
シンボルマーク

Bluetooth® は、The Bluetooth SIG, Inc. の登録商標であり、ライセンスに基づき使用しております。

• 本文で記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中では TM、® マークは一部記載していません。

安全上のご注意（必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

⃠	してはいけない内容です。
❗	実行しなければならない内容です。
⚠	気をつけていただく内容です。

⚠ 警告

異常・故障時には直ちに使用を中止する

電源プラグを抜く

異常があったときには、電源プラグを抜く

- **煙が出たり、異常なにおいや音がする**
- **音声が出ないことがある**
- **内部に水や異物が入った**
- **電源プラグが異常に熱い**
- **本体に変形や破損した部分がある**

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

● 電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、販売店にご相談ください。

電池は誤った使いかたをしない

- **指定以外の電池を使わない**
- **乾電池は充電しない**

- **加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない**
- **⊕と⊖を針金などで接続しない**
- **金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しない**
- **⊕と⊖を逆に入れない**
- **被覆のはがれた電池は使わない**

取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。

● 電池には安全のため被覆をかぶせています。これをはがすとショートの原因になりますので、絶対にはがさないでください。

電源コード・プラグを破損するようなことはしない

（傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど）

傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。

● コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流 100 V 以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。

● 機器の上に水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。

● 特にお子様にはご注意ください。

安全上のご注意（つづき）

⚠ 警告

電池の液がもれたときは、素手でさわらない

- 液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力が大きく損なわれる原因になります。

SC-HC55 のみ

自動ドア、火災報知機などの自動制御機器の近くで本機を使用しない

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

SC-HC55 のみ

病院内や医療用電気機器のある場所で本機を使用しない

本機からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

SC-HC55 のみ

心臓ペースメーカーを装着している方は装着部から 22 cm 以内で本機を使用しない

本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

分解禁止

分解、改造をしない

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

ぬれ手禁止

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

感電の原因になります。

接触禁止

雷が鳴ったら、本機や電源プラグ、アンテナ線に触れない

感電の原因になります。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出す

そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因になります。

⚠ 注意

指はさみ注意

電動スライドドアに指をはさまれないように注意する
けがの原因になることがあります。
● 特にお子様にはご注意ください。

コードを接続した状態で移動しない

接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。
また、引っかかって、けがの原因になることがあります。

不安定な場所に置かない
高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない
倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。

本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない
倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。
また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

放熱を妨げない
内部に熱がこもると、火災の原因になることがあります。
● 背面の通気孔をふさがないでください。
● また、外装ケースが変形する原因にもなりますのでご注意ください。

異常に温度が高くなるところに置かない
温度が高くなりすぎると、火災の原因になることがあります。
● 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。
● また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。

油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない
電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。

屋外アンテナの設置、工事は自分でしない
強風でアンテナが倒れた場合に、けがや感電の原因になることがあります。
● 設置・工事は販売店にご相談ください。

ヘッドホン接続前に、音量を下げる
音量を上げ過ぎた状態で接続すると、突然大きな音が出て耳を傷める原因になることがあります。
● 音量は少しずつ上げてご使用ください。

長期間使わないときは、リモコンから電池を取り出す
液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

電源プラグを抜く

長期間使わないときや、お手入れのときは、電源プラグを抜く
通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。
● ディスクや iPod/iPhone は、保護のため取り出しておいてください。

仕様

SC-HC55

■ アンプ部

実用最大出力（両 CH 動作）	40 W (20 W + 20 W) 6 Ω、1 kHz、全高調波ひずみ率 10 %

■ 入出力端子部

ヘッドホン端子	ステレオミニ（∅ 3.5 mm） 適合ヘッドホンインピーダンス：16 ～ 64 Ω
AUX	ステレオミニ（∅ 3.5 mm）
iPod/iPhone 端子	iPod/iPhone 専用端子

■ FM チューナー部

プリセットメモリー登録数	15 局
受信周波数帯域	76.0 ～ 90.0 MHz（100 kHz ステップ）
アンテナ端子	75 Ω（不平衡型）

■ AM チューナー部

プリセットメモリー登録数	15 局
受信周波数帯域	522 ～ 1629 kHz（9 kHz ステップ）

■ CD 部

再生可能ディスク	8 cm/12 cm CD、CD-R、CD-RW
再生可能フォーマット	CD-DA
サンプリング周波数	44.1 kHz
量子化	16 ビット直線
光源	半導体レーザー
波長	790 nm
レーザーパワー	CLASS Ⅰ
チャンネル数	2 チャンネル（ステレオ）

■ Bluetooth® 部

バージョン	Ver. 2.1+EDR
送信出力	Class 2（2.5 mW）
対応プロファイル	A2DP（受信：SCMS-T 対応）、AVRCP、HFP
通信方式	2402 ～ 2480 MHz（AFH-SS：適応型周波数ホッピングスペクトラム拡散方式）
見通し通信距離	約 10 m（iPhone 4、高さ 1 m、MODE 1（通信品質重視モード）の条件で測定）※1
電波与干渉距離	10 m 以下

■ スピーカー部

形式	2 ウェイ 2 スピーカーシステム （パッシブラジエーター型） ウーハー：6.5 cm × 2　コーン型 ツイーター：1.5 cm × 2　ピエゾ型 パッシブラジエーター：8 cm × 4
インピーダンス	6 Ω

■ 総合

電源	AC100 V，50/60 Hz
消費電力	28 W
寸法（幅×高さ×奥行）	480 mm × 194 mm × 84 mm （本体厚み 69 mm：スタンド部除く※2）
質量	約 2.4 kg
許容動作温度	0 ℃～ +40 ℃
許容相対湿度	35 % ～ 80 % RH（結露なきこと）

電源切（スタンバイ※3）時の消費電力：約 0.07 W

SC-HC35

■ アンプ部

実用最大出力（両 CH 動作）	40 W (20 W + 20 W) 6 Ω、1 kHz、全高調波ひずみ率 10 %

■ 入出力端子部

ヘッドホン端子	ステレオミニ（∅ 3.5 mm） 適合ヘッドホンインピーダンス：16 ～ 64 Ω
AUX	ステレオミニ（∅ 3.5 mm）
iPod/iPhone 端子	iPod/iPhone 専用端子

■ FM チューナー部

プリセットメモリー登録数	15 局
受信周波数帯域	76.0 ～ 90.0 MHz（100 kHz ステップ）
アンテナ端子	75 Ω（不平衡型）

■ AM チューナー部

プリセットメモリー登録数	15 局
受信周波数帯域	522 ～ 1629 kHz（9 kHz ステップ）

■ CD 部

再生可能ディスク	8 cm/12 cm CD、CD-R、CD-RW
再生可能フォーマット	CD-DA
サンプリング周波数	44.1 kHz
量子化	16 ビット直線
光源	半導体レーザー
波長	790 nm
レーザーパワー	CLASS Ⅰ
チャンネル数	2 チャンネル（ステレオ）

■ スピーカー部

形式	1 ウェイ 1 スピーカーシステム （パッシブラジエーター型） フルレンジ：6.5 cm × 2　コーン型 パッシブラジエーター：8 cm × 4
インピーダンス	6 Ω

■ 総合

電源	AC100 V，50/60 Hz
消費電力	28 W
寸法（幅×高さ×奥行）	480 mm × 194 mm × 84 mm （本体厚み 69 mm：スタンド部除く※2）
質量	約 2.4 kg
許容動作温度	0 ℃～ +40 ℃
許容相対湿度	35 % ～ 80 % RH（結露なきこと）

電源切（スタンバイ※3）時の消費電力：約 0.07 W

※1 使用条件などにより異なる場合があります
※2 スタンド部は取り外しできません
※3 iPod/iPhone 非充電時

注：
- この仕様は、性能向上のため変更することがあります。
- 全高調波ひずみ率は、スペクトラムアナライザーによる第 10 次高調波までの総和です。

さくいん

—このマークがある場合は—

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報

このシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

使いかた・お手入れ・修理　などは

■ まず、お買い求め先へ ご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	
電　話	（　　）　－
お買い上げ日	年　月　日

修理を依頼されるときは

「こんな表示が出たら」「故障かな！？」
（➜ 26 ～ 28 ページ）でご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。

● 製品名	コンパクトステレオシステム
● 品　番	SC-HC55 / SC-HC35
● 故障の状況	できるだけ具体的に

● **保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。**

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

● **保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。**

※ 修理料金は次の内容で構成されています。

- 技術料　診断・修理・調整・点検などの費用
- 部品代　部品および補助材料代
- 出張料　技術者を派遣する費用

※ **補修用性能部品の保有期間** 8 年

当社は、このコンパクトステレオシステムの補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後 8 年保有しています。

■ **転居や贈答品などでお困りの場合は、**次の窓口にご相談ください

ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

● **使いかた・お手入れなどのご相談は**……………………………

パナソニック お客様ご相談センター　365日 受付9時～20時

電 話　フリーダイヤル　携帯・PHS OK　**0120-878-365**

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

● **修理に関するご相談は**……………

パナソニック 修理ご相談窓口

電 話　フリーダイヤル　携帯・PHS OK　**0120-878-554**

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

• 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

■各地域の修理ご相談窓口 ※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

• 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

地区	拠点	電話番号	所在地
北海道地区	札幌	☎ (011)894-1251	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
	旭川	☎ (0166)22-3011	旭川市2条通16丁目1166
	帯広	☎ (0155)33-8477	帯広市西20条北2丁目23-3
	函館	☎ (0138)48-6631	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）
東北地区	青森	☎ (017)775-0326	青森市大字浜田字豊田364
	秋田	☎ (018)868-7008	秋田市外旭川字小谷地3-1
	岩手	☎ (019)645-6130	盛岡市厨川5丁目1-43
	宮城	☎ (022)387-1117	仙台市宮城野区扇町7-4-18
	山形	☎ (023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75
	福島	☎ (024)991-9308	郡山市亀田1丁目51-15
首都圏地区	栃木	☎ (028)689-2555	宇都宮市上戸祭3丁目3-19
	群馬	☎ (027)254-2075	前橋市箱田町325-1
	茨城	☎ (029)864-8756	つくば市筑穂3丁目15-3
	埼玉	☎ (048)728-8960	桶川市赤堀2丁目4-2
	千葉	☎ (043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5
	東京	☎ (03)5477-9700	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17
	山梨	☎ (055)222-5822	甲府市宝1丁目4-13
	神奈川	☎ (045)847-9720	横浜市港南区日野5丁目3-16
	新潟	☎ (025)286-0180	新潟市東区東明1丁目8-14
中部地区	石川	☎ (076)280-6608	金沢市玉鉾2丁目266番地
	富山	☎ (076)424-2549	富山市根塚町1丁目1-4
	福井	☎ (0776)21-0622	福井市問屋町2丁目14
	長野	☎ (0263)86-9209	松本市寿北7丁目3-11
	静岡	☎ (054)287-9000	静岡市駿河区高松2丁目24-24
	愛知	☎ (052)819-0225	名古屋市瑞穂区塩入町8-10
	岐阜	☎ (058)278-6720	岐阜市中鶉4丁目42
	高山	☎ (0577)33-0613	高山市花岡町3丁目82
	三重	☎ (059)254-5520	津市久居野村町字山神421
近畿地区	滋賀	☎ (077)582-5021	守山市水保町1166番地の1
	京都	☎ (075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原3番地
	大阪	☎ (06)7730-8888	大阪市城東区関目2丁目15-5
	奈良	☎ (0743)59-2770	大和郡山市筒井町800番地
	和歌山	☎ (073)475-2984	和歌山市中島499-1
	兵庫	☎ (078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4
中国地区	鳥取	☎ (0857)26-9695	鳥取市安長295-1
	米子	☎ (0859)34-2129	米子市米原4丁目2-33
	松江	☎ (0852)23-1128	松江市平成町182番地14
	出雲	☎ (0853)21-3133	出雲市渡橋町416
	浜田	☎ (0855)22-6629	浜田市下府町327-93
	岡山	☎ (086)242-6236	岡山市北区田中138-110
	広島	☎ (082)295-5011	広島市西区南観音1丁目13-5
	山口	☎ (083)973-2720	山口市小郡下郷220-1
四国地区	香川	☎ (087)868-6388	高松市勅使町152-2
	徳島	☎ (088)624-0253	徳島市沖浜2丁目36
	高知	☎ (088)834-3142	高知市仲田町2-16
	愛媛	☎ (089)905-7544	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1
九州地区	福岡	☎ (092)593-8002	春日市春日公園3丁目48
	佐賀	☎ (0952)26-9151	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044
	長崎	☎ (095)830-1658	長崎市東町1919-1
	大分	☎ (097)556-3815	大分市萩原4丁目8-35
	宮崎	☎ (0985)63-1213	宮崎市本郷北方字草葉2099-2
	熊本	☎ (096)367-6067	熊本市健軍本町12-3
	天草	☎ (0969)22-3125	天草市港町18-11
	鹿児島	☎ (099)250-5657	鹿児島市与次郎1丁目5-33
	大島	☎ (0997)53-5101	奄美市名瀬朝仁町11-2
沖縄地区	沖縄	☎ (098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。
最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html

1210

会員サイト「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をしてください

PC http://club.panasonic.jp/　携帯

※このサービスはWEB限定のサービスです。

● 使いかた・お手入れなどのご相談は……………………………

パナソニック 総合お客様サポートサイト

http://panasonic.co.jp/cs/

パナソニック お客様ご相談センター 365日 受付9時～20時

電話 フリーダイヤル（携帯・PHS OK）**0120-878-365**

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

音声ガイダンスを短くするには、案内が聞こえたら電話機ボタンの「87」と「130#」を押してください。

（番号を押しても案内が続く場合は、「＊」ボタンを押してから操作してください。）

■上記番号がご利用いただけない場合 **06-6907-1187**　■FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan　Tokyo (03) 3256-5444　Osaka (06) 6645-8787

Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

● 修理に関するご相談は……………

パナソニック 修理サービスサイト

http://club.panasonic.jp/repair/

インターネットでのご依頼も可能です。

パナソニック 修理ご相談窓口

電話 フリーダイヤル（携帯・PHS OK）**0120-878-554**

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

• 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

愛情点検　長年ご使用のコンパクトステレオシステムの点検を！

こんな症状はありませんか	• 煙が出たり、異常なにおいや音がする • 音声が出ないことがある • 内部に水や異物が入った • 本体に変形や破損した部分がある • その他の異常や故障がある	ご使用中止	**故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。**

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

販売店名	☎（　　）　－	品番	SC-HC55 SC-HC35
お客様ご相談窓口	☎（　　）　－	お買い上げ日	年　月　日

パナソニック株式会社
AVCネットワークス社 ネットワーク事業グループ
〒571－8504 大阪府門真市松生町1番15号

RQTX1259-2S
H0111WM2021